



KEIKYU BUSINESS REPORT

第99期 第2四半期 連結累計期間報告 2019年4月1日～2019年9月30日

京浜急行電鉄株式会社 証券コード 9006

CONTENTS

- 02 トップメッセージ
- 04 連結決算ハイライト
- 05 セグメント情報
- 06 トピックス
- 10 株主優待制度のご案内
- 11 株主プレミアムイベント



トップメッセージ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第99期 第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業の概況をまとめ、「KEIKYU BUSINESS REPORT」としてお届けいたします。

なお、9月に神奈川新町駅～仲木戸駅間の踏切道において発生した列車脱線事故でお怪我をされた方、ご利用のお客さまに多大なご迷惑をおかけしましたことを、謹んでお詫び申し上げます。また、株主の皆様に対しましても、ご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。公共交通を担う事業者として、お客さまに安心してご利用いただけるサービスを引き続き提供するため、事故の原因究明および再発防止に尽力してまいります。

今後も、企業価値を高め、株主の皆様のご期待にお応えしてまいりますので、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

京浜急行電鉄株式会社
取締役社長執行役員

原田 一之

◆ 第99期第2四半期連結決算の概要

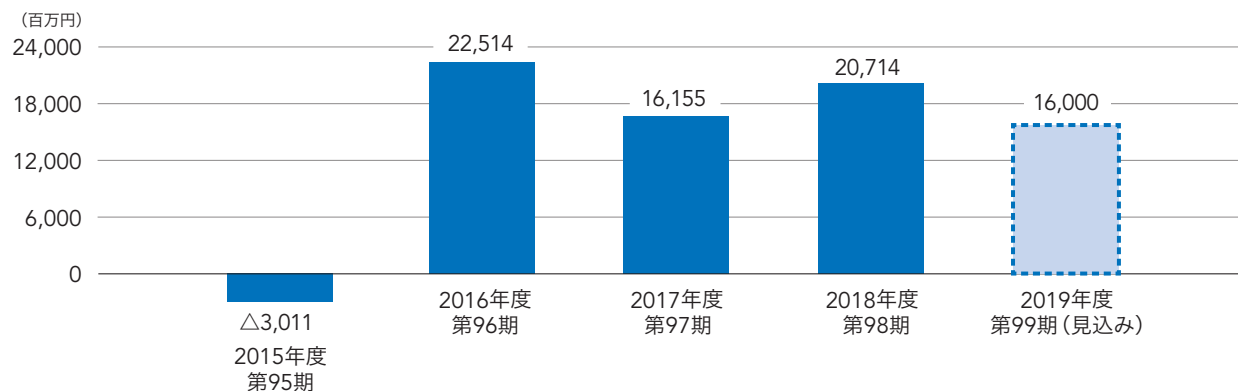
当第2四半期連結累計期間の営業収益は、不動産事業において、分譲マンションの販売および引き渡しが順調に推移したことに加え、マンション事業計画用地を売却したことなどにより、営業収益は1,652億4千1百万円

(前年同期比9.4%増)、営業利益は217億8百万円(前年同期比12.9%増)、経常利益は203億9千5百万円(前年同期比13.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は137億5千1百万円(前年同期比11.2%増)となりました。

◆ 第99期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の見通し

通期の業績予想につきましては、概ね想定の範囲内で推移していることから、2019年5月10日に開示した予想を据え置いております。

親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)の推移



◆◆ 株主還元について

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の最重要政策と位置づけ、安定した配当の継続を基本とし、業績や財務状況等を勘案して配当を行う方針としております。

当期の中間配当金につきましては、前期に引き続き、1株につき8円とすることを決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

連結決算ハイライト 第99期 第2四半期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期末	前期末
資産合計	884,092	891,844
負債合計	603,622	622,005
純資産合計	280,469	269,839

●資産の部

受取手形及び売掛金や分譲土地建物が減少したことなどにより、前期末と比べ77億5千2百万円減少しました。

●負債の部

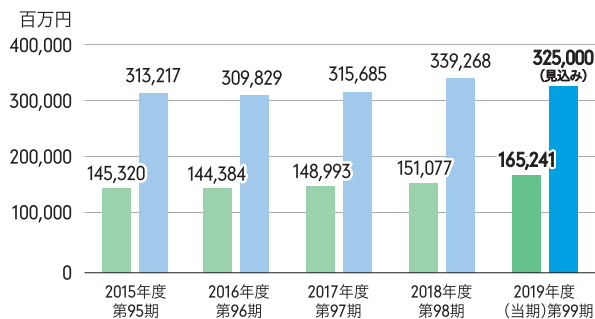
有利子負債や支払手形及び買掛金の減少などにより、前期末と比べ183億8千2百万円減少しました。

●純資産の部

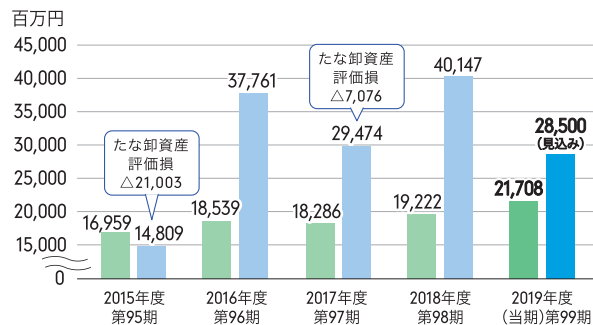
剰余金の配当による減少などはありませんでしたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前期末と比べ106億2千9百万円増加しました。

業績等の推移 ■ 第2四半期(累計) ■ 通期

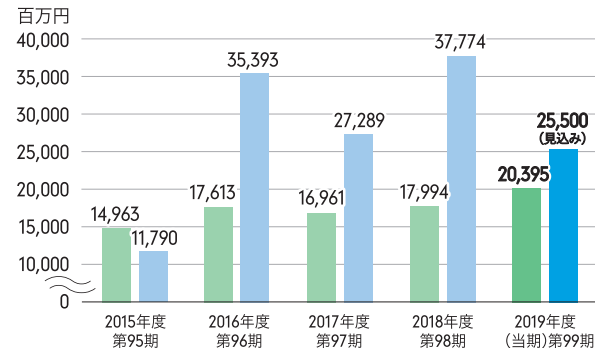
営業収益



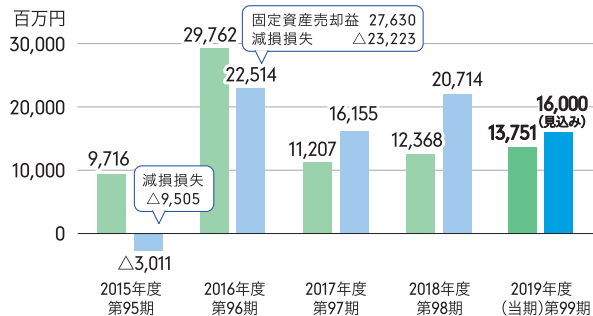
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は当期純損失(△)



セグメント情報

交通事業



営業収益

639億円

(前年同期比 1.7%増)

営業利益

117億円

(前年同期比 4.0%減)

- 鉄道事業では、都心方面および羽田空港の輸送人員の増加などにより、輸送人員は前年同期比で2.8%増加(定期2.9%増、定期外2.7%増)となり、増収となりました。また、輸送人員のうち羽田空港国内線ターミナル駅および羽田空港国際線ターミナル駅は、前年同期比で5.3%増加(国内線4.7%増、国際線7.3%増)となりました。
- バス事業では、京浜急行バス(株)において、羽田空港アクセス路線等が順調に推移したほか、川崎鶴見臨港バス(株)において、定期利用者数が増加したことなどにより増収となりました。

流通事業



営業収益

506億円

(前年同期比 4.4%減)

営業利益

13億円

(前年同期比 13.8%増)

- スーパーマーケット業では、前期に閉店した京急ストアサニーマート店等の影響などにより、減収となりました。
- ショッピングセンター業において、前期に耐震補強工事に伴い休業していたウィング新橋が通期稼働しました。

営業収益
1,652億円
(前年同期比 9.4%増)

その他



営業収益

234億円

(前年同期比 22.2%増)

営業利益

8億円

(前年同期比 48.8%増)

- 京急建設(株)および京急電機(株)は、施工した工事の増加などにより増収となりました。

レジャー・サービス事業



営業収益

196億円

(前年同期比 5.8%増)

営業利益

37億円

(前年同期比 6.7%増)

- ビジネスホテル業では、京急E Xホテル・京急E Xインは、ビジネス、レジャー需要を積極的に取り込むとともに、前期に開業した「京急E Xイン浜松町・大門駅前」および今期に開業した「京急E Xイン 羽田・穴守稲荷駅前」が寄与し、増収となりました。
- レジャー関連施設業では、京急開発(株)は、ポートレース事業における売上が増加したことなどにより増収となりました。

不動産事業



営業収益

306億円

(前年同期比 72.1%増)

営業利益

44億円

(前年同期比 108.1%増)

- 不動産販売業では、当社および京急不動産(株)は、「プライムパークス品川シーサイド ザ・タワー」の販売および引渡しを行い、順調に推移したほか、マンション事業計画用地を売却しました。
- 不動産賃貸業では、賃貸建物が順調に稼働したことなどにより、増収となりました。

地域とともに歩む

◎「京急グループ本社」稼働開始

みなとみらい21地区（横浜市西区高島1丁目2番8号）に建設を進めていた「京急グループ本社」が9月に竣工・稼働しました。9月から順次移転を進め、10月には京急電鉄をはじめとする全11社、約1,200名が横浜での業務を開始しました。各グループ会社の本社機能を横浜に集約することで、グループ間の業務の効率化を図るとともに、連携をさらに強化していきます。

当社線の間地点に位置する横浜は、当社の前身である京浜電気鉄道と湘南電気鉄道の結節地点という京急電鉄の歴史上でも意義深い土地であるだけでなく、品川や羽田空港という当社の事業拠点にも至近であり、高い事業ポテンシャルを沿線全体に波及していくうえで、大変重要な拠点です。



「京急グループ本社」屋外に設置されたケイキューブ

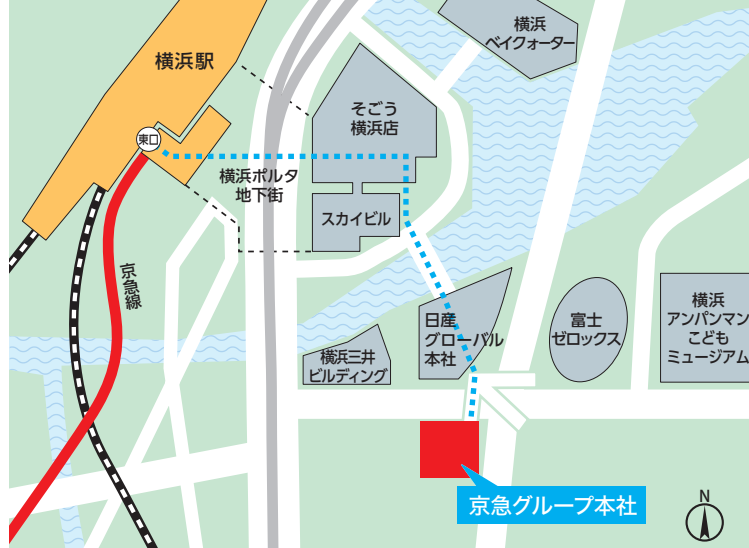


「京急グループ本社」外観

また、品川から横浜への本社移転は、品川駅の再編や再開業事業における事業用地の集約という意味において必要不可欠な施策でした。2027年に予定される品川駅のリニア中央新幹線の開業に合わせ、当社線品川駅の地平化、2面4線化を実現していきます。さらに、「品川・羽田を玄関口として、国内外の多くの人々が集う、豊かな沿線を実現する」という京急グループの長期ビジョンの達成に向け、グループ一丸となって業務を推進していきます。

2020年1月には、「京急グループ本社」1階に「京急ミュージアム」を開業します。訪れたすべての人にお楽しみいただけるよう、当社事業エリアのジオラマや運転シミュレータを設置するほか、ワークショップなども行う予定です。

「京急グループ本社」には、当社グループが運営する認可保育所「京急キッズランド」を併設し、より一層地域に密着した企業となるよう努めていきます。



「京急グループ本社」位置図



「京急ミュージアム」沿線を再現した「京急ラインジオラマ」の展示(イメージ)



「京急ミュージアム」修復した「デハ230形・デハ236号」の展示(イメージ)



KEIKYU BUSINESS REPORT

TOPICS 2

基幹たる交通事業の 基盤強化

▶ 座席指定サービスの拡充

お客さまの動向や需要に応じた輸送力確保と
利便性向上を目的に2019年10月26日(土)に土
休日ダイヤを、10月28日(月)に平日ダイヤを改
正しました。

また、「みさきまぐるぎっぷ」や「よこすか満喫
きっぷ」等をご利用のお客さまおよび当社線沿
線にお住まいのお客さまのより快適な移動を実
現するため、クロスシートタイプの車両の一部
を座席指定とした「ウイング・シート」を10月26
日(土)から、土休日限定で運行開始しました。



ウイング・シート

羽田における 基盤強化の推進

▶ 羽田エリアで3棟目となるビジネスホテル 「京急EXイン 羽田イノベーションシティ」 2020年夏オープン

2020年夏、羽田空港国際線ターミナルから1駅、「天空橋駅」直近に位置し、先端産業、文化産業の創造・発信拠点として整備が進められている大規模複合施設「HANEDA INNOVATION CITY(羽田イノベーションシティ)」内に「京急EXイン 羽田イノベーションシティ」を開業します。

この出店により、羽田空港周辺では「京急EXイン 羽田」、「京急EXイン 羽田・穴守稲荷駅前」とあわせて3館732室となります。ますます発展していく羽田エリアにおいて、ホテル事業を含む当社グループ事業基盤のさらなる強化を推進していきます。

「京急EXホテル・京急EXイン」全体では、中期経営計画で掲げていた「2020年度に3,000室体制」の目標を2019年度に前倒しで達成し、2020年夏には全17館3,451室となります。

今後も羽田空港への利便性の高いホテルチェーンとして、多様化する宿泊ニーズに対応するべく、沿線だけでなく、羽田空港を起点とした国内主要都市も含め、新規出店を積極的に進めていきます。



2017年10月 新築開業「京急EXイン 羽田」外観(上)
 2019年8月 リブランド開業「京急EXイン 羽田・穴守稲荷駅前」外観(中)
 「HANEDA INNOVATION CITY(羽田イノベーションシティ)」全体外観完成予想図(下)

株主優待制度のご案内

●京急グループ施設株主優待割引券のほか、株式数に応じて
電車・バス全線きっぷやホテル宿泊券等が選択できる株主優待制度を設けています。

ご所有株式数	基準日	電車・バス全線きっぷ	京急EXホテル・京急EXイン 無料宿泊券(シングル)	電車全線バス	バス全線バス
100株以上 200株未満	9月末	-	-	-	-
	3月末	2枚(注1)	-	-	-
200株以上 500株未満	9月末	2枚	-	-	-
	3月末	2枚	-	-	-
500株以上 1,500株未満	9月末	4枚	-	-	-
	3月末	4枚	-	-	-
1,500株以上 2,500株未満	9月末	8枚	-	-	-
	3月末	8枚	-	-	-

(注1)毎年3月31日の基準日時点の株主様に限り年1回発行(毎年5月中旬に発送)

いずれか1つ選択

2,500株以上 5,000株未満	9月末	15枚	1枚	-	-
	3月末	15枚	1枚	-	-
5,000株以上 10,000株未満	9月末	30枚	2枚	-	-
	3月末	30枚	2枚	-	-
10,000株以上 15,000株未満	9月末	60枚	4枚	-	-
	3月末	60枚	4枚	-	-

いずれか1つ選択

15,000株以上 22,500株未満	9月末	90枚	6枚	1枚	-
	3月末	90枚	6枚	1枚	-
22,500株以上 30,000株未満	9月末	135枚	6枚	1枚	1枚
	3月末	135枚	6枚	1枚	1枚
30,000株以上	9月末	180枚	6枚	電車・バス共通全線バス	1枚
	3月末	180枚	6枚	電車・バス共通全線バス	1枚

※電車・バス全線きっぷは、当社電車全線および当社グループ(京浜急行バス、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。(空港リムジンバスは、横浜駅(YCAT)・横浜駅西口～羽田空港線のみご利用になれます。) ※株主優待の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

京急グループ施設株主優待割引券(年2回) 100株以上ご所有のすべての株主様

京急EXホテル・京急EXイン

	100株以上500株未満	半期に2枚
	500株以上	半期に4枚
	スタンダードプランから1,000円割引	

京急ストア・もたちユニオン

	100株以上500株未満	半期に20枚
	500株以上	半期に40枚
	50円割引 (1,000円以上(税込)のお買い上げごとに1枚)	

羽田空港国際線・国内線ターミナル駅(注2)構内「セブン-イレブン」

	100株以上500株未満	半期に1枚
	500株以上	半期に2枚
	コーヒー1杯無料	

(注2)2020年3月、駅名を変更します。

さらに3年以上継続の場合

電車・バス全線きっぷ

15枚
15枚
15枚
15枚
15枚
15枚

電車・バス全線きっぷ

15枚
15枚
15枚
15枚
15枚
15枚

+

+

単元未満株式の買取・買増制度、特別口座に関するお問い合わせは

株主名簿管理人・特別口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

〈営業時間〉平日 9:00～17:00

 0120-782-031

当社株主優待等に関するお問い合わせは

京急ご案内センター

〈営業時間〉※営業時間は変更となる場合がございます。

平日 9:00～19:00

土・日・祝日 9:00～17:00

ハロー・ハロー

03-5789-8686 または 045-441-0999



平和島を探検！魅力あふれるスポットの見学ツアー



開催日時	2020年1月24日(金)
開催時間	13時30分～17時00分(予定)
募集人員	15組30名様
応募締切	2019年12月20日(金)消印有効
当選者へのご案内	2019年12月26日(木)発送予定

羽田空港からのアクセスもよく、アミューズメント施設や飲食店が集積する「平和島」。

今回のイベントでは、普段見ることができない「ボートレース整備場」の裏側見学、ボートレース場内の見学のほか、レジャー施設として人気の「天然温泉 平和島」「平和島スターボウル」「スペースアスレチック トンデミ “ヘイワジマ”」の見どころや特色をご紹介します。

イベント参加申し込み方法

応募資格 2019年9月30日現在 株主の方

応募方法 はがき・ウェブ

はがきで応募される方

本誌の応募券を貼り、以下の事項をすべてご記入のうえ応募ください。

1. 株主様の氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、株主番号
2. 同伴者の氏名、年齢、株主様とのご関係
3. (同伴者が同居以外の場合のみ) 同伴者の郵便番号、住所、電話番号

【はがき】

上記1～3を
必ずご記入
ください



【応募券】

株主プレミアムイベント
応募券
第99期中間
ページ右下にあります

【送付先】

〒220-8625
京急電鉄
株主プレミアム
イベント事務局

ウェブで応募される方

1. 「京急電鉄IR」でウェブ検索します。[京急電鉄IR](#) 検索
2. 京急電鉄ウェブサイトの「IR情報」にアクセスします。
3. 応募ページに進んでいただき、ログインパスワード「9006」を入力してご応募ください。

ご注意

- ・お申し込みは、お一人様につき一回限りです。
- ・同伴者は株主の方でなくても結構です。
- ・現地集合・現地解散となります。
- ・参加費は無料ですが、現地までの往復交通費はご負担いただけます。
- ・諸般の事情から内容を変更または中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。
- ・なお、当選者の発表は当選はがきの発送をもって代させていただきます。
- ・ご応募に際していただいた情報は、本イベントに関して必要な範囲でのみ利用いたします。

株主プレミアムイベント



応募券
第99期中間

● 商号	京浜急行電鉄株式会社 (証券コード 9006) Keikyu Corporation	● 設立	1898年2月25日(前身の大師電気鉄道の設立) 1948年6月1日(京浜急行電鉄の設立)
● 本社所在地	〒220-8625 横浜市西区高島1丁目2番8号	● グループ会社	49社(当社を含む)
		● 従業員数	9,170名(うち当社2,869名)

役員

取締役	取締役会長 (代表取締役)	石渡 恒夫	執行役員	社長執行役員	原田 一之
	取締役社長 (代表取締役)	原田 一之		副社長執行役員	小倉 俊幸
	取締役	小倉 俊幸		専務執行役員	道平 隆
	取締役	道平 隆		専務執行役員	本多 利明
	取締役	本多 利明		常務執行役員	浦辺 和夫
	取締役	平位 武		常務執行役員	渡辺 静義
	取締役	浦辺 和夫		常務執行役員	川俣 幸宏
	取締役	渡辺 静義		執行役員	平位 武
	取締役	川俣 幸宏		執行役員	佐藤 憲治
	取締役	佐藤 憲治		執行役員	上野 賢了
	取締役 (社外)	佐々木 謙二		執行役員	三原 弘之
	取締役 (社外)	友永 道子		執行役員	金子 雄一
	取締役 (社外)	寺島 剛紀		執行役員	櫻井 和秀
監査役	常勤監査役 (社外)	森脇 朗			
	常勤監査役 (社外)	廣川 雄一郎			
	監査役 (社外)	末綱 隆			
	監査役 (社外)	須藤 修			

お知らせ

● 中間配当金は、同封の「配当金領収証」により、お受け取りください。なお、銀行口座等への振込みをご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

● すべての方に同封しております「配当金計算書」は、確定申告を行う際に、添付資料としてご使用いただけます。なお、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、確定申告を行う際の添付資料はお取引の証券会社にご確認ください。